



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 天昇電気工業株式会社  
コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理統括  
四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

(氏名) 石川 忠彦  
(氏名) 沼口 和成

TEL 042-788-1880

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	11,248	2.1	913	95.9	976	143.7	537	57.1
28年3月期第3四半期	11,013	4.5	466	199.9	400	201.9	342	148.1

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 552百万円 (127.0%) 28年3月期第3四半期 243百万円 (△8.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	32.40	32.34
28年3月期第3四半期	20.69	20.54

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	15,473	4,038	26.1	243.32
28年3月期	15,797	3,490	22.0	210.36

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 4,038百万円 28年3月期 3,481百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,800	4.3	950	33.9	800	35.6	400	△11.3	24.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	17,014,000 株	28年3月期	17,014,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	417,243 株	28年3月期	463,016 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	16,586,965 株	28年3月期3Q	16,533,550 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P3
(4) 追加情報 .....	P3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P8
(セグメント情報等) .....	P8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策により企業収益や雇用情勢の改善など景気に穏やかな回復の兆しがみられるものの、不安定な金融情勢に加え、中国経済の減速、米国の政権移行に伴う政策変更リスクや依然不安定な欧州の政局など、景気の先行きは不透明感を増しております。

このような状況の下、当社グループは前連結会計年度に引続き、売上拡大に向けた営業強化と生産効率の向上を図ってまいりました結果、売上高は112億48百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。損益面におきましては、生産性を高めるための工程改善、省力化の推進及び原材料効率化等の原価低減効果により、営業利益は9億13百万円（前年同四半期比95.9%増）となりました。営業外収益に為替差益1億29百万円、営業外費用に持分法による投資損失14百万円を計上したこと等により、経常利益は9億76百万円（前年同四半期比143.7%増）、特別損失に投資有価証券売却損1億75百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億37百万円（前年同四半期比57.1%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

## 日本成形関連事業

自動車部品につきましては、当第3四半期連結累計期間において新機種の量産開始等もあり、引き続き堅調に推移いたしました。物流産業資材は、復興需要が終息したものの、物流用資材や雨水貯留浸透用製品が好調に推移し、前年同四半期比増収となっております。この結果、売上高は106億96百万円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益は6億94百万円（前年同四半期比208.2%増）となりました。

## 中国成形関連事業

物流産業資材及び機構品部品の売上拡大に努めておりますが、非常に厳しい状況が続いております。売上高は2億35百万円（前年同四半期比35.9%減）と大幅に減収となりました。工場経費を中心とした徹底的な原価削減を進めましたが、セグメント損失は28百万円（前年同四半期は4百万円の損失）となりました。

## 不動産関連事業

相模原市、伊賀市、伊那市所在の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。売上高は3億16百万円（前年同四半期は3億16百万円）、セグメント利益は2億47百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、154億73百万円（前連結会計年度末比3億23百万円減）となりました。これは主に、現金及び預金が6億95百万円増加、投資有価証券が9億70百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、114億35百万円（前連結会計年度末比8億71百万円減）となりました。これは主に、長期借入金4億64百万円、1年内返済予定の長期借入金2億4百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、40億38百万円（前連結会計年度末比5億47百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金が1億30百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間までの業績は計画を上回って推移いたしました。今後の原油価格、為替等の動向により変動する可能性があることから通期予想を据え置きました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,843	3,539
受取手形及び売掛金	3,007	2,670
電子記録債権	660	939
製品	334	242
原材料	368	437
仕掛品	50	57
短期貸付金	112	58
その他	250	239
流動資産合計	7,629	8,184
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,153	2,041
土地	2,610	2,610
その他(純額)	1,549	1,502
有形固定資産合計	6,313	6,154
無形固定資産	59	104
投資その他の資産		
投資有価証券	1,679	709
その他	141	346
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	1,795	1,030
固定資産合計	8,168	7,288
資産合計	15,797	15,473
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,052	3,841
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	1,596	1,392
未払法人税等	96	240
賞与引当金	179	108
その他	1,164	1,172
流動負債合計	7,389	7,055
固定負債		
長期借入金	4,143	3,678
資産除去債務	37	38
その他	736	662
固定負債合計	4,917	4,379
負債合計	12,307	11,435

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	1,402	1,939
自己株式	△47	△42
株主資本合計	3,461	4,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13	117
繰延ヘッジ損益	△12	△8
為替換算調整勘定	44	△74
その他の包括利益累計額合計	19	34
新株予約権	8	—
純資産合計	3,490	4,038
負債純資産合計	15,797	15,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	11,013	11,248
売上原価	9,003	8,734
売上総利益	2,009	2,514
販売費及び一般管理費	1,543	1,600
営業利益	466	913
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	24	6
為替差益	3	129
スクラップ売却益	8	2
その他	13	10
営業外収益合計	53	153
営業外費用		
支払利息	94	74
持分法による投資損失	23	14
その他	2	1
営業外費用合計	119	90
経常利益	400	976
特別利益		
固定資産売却益	34	4
新株予約権戻入益	—	4
特別利益合計	34	8
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	3	3
投資有価証券売却損	—	175
投資有価証券評価損	27	—
特別損失合計	31	178
税金等調整前四半期純利益	404	806
法人税等	62	269
四半期純利益	342	537
親会社株主に帰属する四半期純利益	342	537



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	342	537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	130
繰延ヘッジ損益	2	3
為替換算調整勘定	△5	△35
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△83
その他の包括利益合計	△98	15
四半期包括利益	243	552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243	552
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	10,328	367	316	11,013	—	11,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	25	—	25	△25	—
計	10,328	393	316	11,039	△25	11,013
セグメント利益又は損失(△)	225	△4	245	466	—	466

(注) 1 セグメントの調整額は、セグメント間取引消去25百万円であります。

2 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	10,696	235	316	11,248	—	11,248
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	10	—	10	△10	—
計	10,696	246	316	11,259	△10	11,248
セグメント利益又は損失(△)	694	△28	247	913	—	913

(注) 1 セグメントの調整額は、セグメント間取引消去10百万円であります。

2 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。